

心を鍛えよ 体を鍛えよ 頭を鍛えよ

校訓  
自然に学ぶ

【自己肯定感と自己有用感の向上 ← すべての生徒に居場所と出番と活躍の場を】

めざす生徒像

命を尊び人権を大切にする生徒  
 まじめにこつこつ粘り強く努力できる生徒  
 主体的に学び自分で課題を見つけられる生徒  
 自ら考え自ら判断し自ら決定し行動できる生徒  
 仲間とともに学校生活を高められる生徒  
 地域や社会に貢献できる生徒

めざす学校像

明るい挨拶や会話がとびかう活気ある学校  
 自分らしさが発揮でき、温かい雰囲気のある学校  
 理性と気品が漂い、目に耳に心に美しい学校  
 互いに切磋琢磨し、高め合う学校  
 地域に愛され地域に貢献する学校

今年度の具体的方策と重点目標

頭を鍛える

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
  - ・タブレットの積極的かつ有効な活用
  - ・振り返りとまとめから主体性を伸ばす
  - ・「学びを支える学級集団作り」の校内研
- ② 読書活動の充実
  - ・ビブリオバトルの推進
  - ・教科における積極的図書館利用
- ③ DAITOアクティビティ（本物体験）とコミュニティ・スクールの推進
- ④ 家庭学習の充実と低学力の克服
- ・不登校等困難な環境にある生徒の学びへのアクセス

・各教科でつきたい資質・能力  
 ・読書率の向上  
 ・5教科100点以下の減少  
 ・全員学びへのアクセス

体を鍛える

- ① 軸となる保健体育の授業の充実
  - ・基礎体力・防衛体力の向上
  - ・生涯を通じてスポーツに親しむ素養づくり
- ② 生徒の主体的な部活動の運営と地域移行への試行
- ③ 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進
- ④ 危険予測・回避能力の向上
  - ・福島修学旅行の学びを全校で共有・深化

【頭と体と心の取組を総合的に推進して】  
 R5年度の「総欠席日数」と「月7日以上欠席者数」より減少させる

心を鍛える

- ① いじめ問題への取組強化と自治的な学級・学年集団づくり（意見表明と言語化）
  - ・「いじめマスターズ宣言」の改訂とその行動化
  - ・人権学習、挨拶運動等で心を耕す
- ② 多様な価値観にふれる道徳教育
  - ・22の内容項目
- ③ ボランティア活動と地域貢献
  - ・かまどベンチ製作と避難所設営体験

日常生活の中でこそ「心を鍛える」  
 ・目標設定と自己評価によるPDCAサイクルの確立  
 ・当たり前のことを特別熱心に取り組む  
 ・「時を守り、場を清め、礼を正す」

非認知能力（社会情緒的スキル）を高める  
 ・「長期的目標の達成」  
 ・「他者との協働」  
 ・「感情を管理する能力」

その他の視点

- ① 不登校生徒のアセスメントに基づく組織的対応
- ② SOSの出し方に関する教育の推進（真の自立は適度な依存から）
- ③ 丁寧で組織的な保護者対応
- ④ 危機管理の「さしすせそ」（最悪を想定し、慎重に、速やかに、誠意をもって、組織的に）
- ⑤ いじめ等の事案対応は「事実の確認」「経過の確認」「その後の確認」まで
- ⑥ インターネットやゲーム等から生徒自身を守る取組
- ⑦ 合理的配慮を含む特別支援教育の推進

「誠意」と「情熱」と「けじめ」をもって生徒や保護者に接する教職員  
 学び続ける教職員、教えるプロから学びのプロへ変革する教職員  
 人を敬い、人から尊敬される「人間力」あふれる教職員  
 綱紀粛正を徹底し、公に尽くす教師

めざす教職員像

【学校運営のキーワード】  
 ・PDCAサイクルとOODAループで実践を積み上げる  
 ・ねらいと目的に commitment し、手段と方法を考える